

活動組織名	さわやか側島		
○付け	活動内容 (※該当する項目すべてに○をつけてください)		
○	農地維持活動		
○	資源向上活動 (共同)		
	農村環境 向上活動	啓発・普及 (地域住民との交流活動、学校教育等との連携 など)	
		生態系保全 (生物の生息状況の把握、外来種の駆除 など)	
		水質保全 (水質モニタリングの実施・記録管理 など)	
○		景観形成・生活環境保全 (景観作物の施設への植栽、定期的な清掃 など)	
		水田貯留機能増進・地下水かん養 (水田の貯留機能向上活動 など)	
	資源循環 (地域資源の活用・資源循環のための活動)		
○	多面的機能の増進を図る活動	地域住民による直営施工	
	資源向上活動 (長寿命化)		
活動(行事)名	農業用水路の点検・機能診断・注油、目地補修、景観形成のための植栽		
実施場所	側島地区内の農業用水路、農地周辺		
実施日 及び 参加者	溝ざらえ	4月 9日	参加者：構成員 73名
	目地補修	11月19日	参加者：構成員 30名
	点検・機能診断・注油	4月22日	参加者：構成員 3名
	花苗の植栽	6月18日	参加者：構成員 13名
	花苗の植栽	10月 8日	参加者：構成員 14名
[活動の内容]			
<p>農業用水路の点検・機能診断を実施し、水門のギャ部分への注油、水門付近のごみの取り出し、溝ざらえ、痛んでいる個所の目地補修を実施しました。 また、地域内の集会施設や農地周辺に季節の草花を植栽しました。植栽担当者を決めて、日常の水やりなどの管理も行いました。</p>			
[参加者の感想など]			
<ul style="list-style-type: none"> ・水路の維持管理のために日ごろの点検と保全が大切であることを再認識しました。また、さらなる技術の習得や継承が必要であると感じました。 ・溝浚えは、さわやか側島の活動の中では最も重労働の作業です。多くの人に参加をしていただき、実施後には慰労会を通し、交流を図ることができました。 ・自分たちで植栽した草花が地域内できれいに咲いているのを見るのが楽しみです。 			
			